

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|-----------------|---|------|-----|------|---------------|---------|-----|--|-----|----|-----|--|------|--|
| 事業所名 | | ココトモ ビレッジ桜校 | | | | 支援プログラム(参考様式) | | 作成日 | | 6 年 | | 9 月 | | 16 日 | |
| 法人(事業所)理念 | | 経営理念:子どもたちと未来を創る 私達は、子どもたちを中心に地域社会と力を合わせ自立と就労に向けた支援に徹し、笑顔あふれる未来を作ります。 | | | | | | | | | | | | | |
| 支援方針 | | ダイナミックリズム(集団運動療育)を取り入れた療育や身辺自立訓練、生活訓練など個々の課題に即した支援を行います。スモールステップで成功体験を積み重ね、できることをやしていきます。 | | | | | | | | | | | | | |
| 営業時間 | | | 10 時 | 0 分 | 19 時 | 0 分 | 送迎実施の有無 | | あり | | なし | | | | |
| | | 支 援 内 容 | | | | | | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 健康な生活習慣の促進や日常生活における基本的な動作や自立を促す。 ・身辺自立の獲得 ・定期的な心身の把握(毎回体温測定・気分把握) ・生活リズムの安定(定期的かつ定時に通所) ・安心できる場の提供を行い、落ち着いて過ごせるよう環境設定を行う | | | | | | | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | 体を動かす機会を作り、体力の向上を目指す。感覚の特性を配慮し、過敏さの軽減に努める。 ・ダイナミックリズム(集団運動療育)を通して体を動かす ・体を動かすことの楽しさを感じられる遊びの提案 ・感覚の特性(感覚の過敏や鈍麻)への対応としての環境整備 ・手先訓練による日常生活の向上 | | | | | | | | | | | | | |
| | 認知・行動 | 見通しを立てて伝えることで、安心して取り組める行動力を養う。 ・視覚支援を行い、安心して行動できる力を養う ・発達に合わせた合理的配慮 ・小集団における活動での適切な行動形成、認知の偏りの配慮 ・強度行動障害の予防及び対応 | | | | | | | | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | 伝わることの喜びを感じ、伝えたいと思う気持ちを育てる。 ・コミュニケーション手段を選択し、活用する ・絵カードや写真を使った視覚支援の充実 ・自己表現力の向上 ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 | | | | | | | | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | ルールに合わせた行動等、他者との関係の向上を図り、社会生活における適応力を養う。 ・信頼できる大人との関わりの形成 ・安心できる場で気持ちのコントロールができるための支援 ・地域との関わりを通して豊かな感情を育てる ・自己の行動や感情を理解し、コントロールできる支援 | | | | | | | | | | | | | |
| 家族支援 | | 児童期、学齢期の成長・発達の心配等、家族が抱える葛藤に対し、関係機関と連携してサポートする | | | | | 移行支援 | | ライフステージに合わせた移行準備や地域のつながりを一緒に考える | | | | | | |
| 地域支援・地域連携 | | 学校等や障害福祉サービス等事業所と連携して、子どもや家族の支援をトータルにサポートする | | | | | 職員の質の向上 | | 虐待防止事例検討会、事業所内支援会議、西尾市放課後等デイサービス事業所連絡会、県キャリアパス研修等、外部講師による研修会 | | | | | | |
| 主な行事等 | | 夏祭りなど季節に合わせた活動、保護者向け講演会 | | | | | | | | | | | | | |